

## 【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【国家レベルのペイシエントキャピタル、大湾区に誕生】](#)

[【香港、世界第5位の商品貿易経済圏に躍進】](#)

## 【国家レベルのペイシエントキャピタル、大湾区に誕生】



新たな質の生産力を育成するには、「忍耐強い資本」（ペイシエントキャピタル：プロジェクトやシード企業への長期投資）の戦略的投入が欠かせません。

4 月 2 日午後、大湾区ベンチャー投資促進ファンドの政策説明会及び広東省（粵）とベンチャー、イノベーションプロジェクト（創）と金融・投資機関（金）をつなぐ「粵創金橋」イベントが広州市にて開催されました。

本イベントは「大湾区の資本を結集し、科学技術イノベーションの未来を切り拓く」をテーマに、ベンチャーキャピタル機関、科学技術イノベーション企

---

業、金融・産業プラットフォームを対象として開催されました。国家レベルのベンチャー投資促進ファンドに関する政策を全面的に解説し、「粵創金橋」による投資、融資マッチングを深化させ、新たな質の生産力の育成を加速させ、大湾区が世界的影響力を持つ国際科学技術イノベーションセンターとなることを支援します。

イベントの最大の主役は、大湾区ベンチャー投資促進ファンド（以下「大湾区ファンド」）であり、これは広東省が受け入れた初の国家レベルマザーファンドでもあります。

国家レベルのペイシメントキャピタルによる大湾区への重要戦略として、この大型ファンドは、具体的にどのような分野に、どのような方法で投資していくのでしょうか。

### 数千億元の民間資本投資を呼び込み

大湾区ファンドは、国家ベンチャー投資促進ファンドが主導し、地方政府、中央政府系・国有企業、金融機関、民間資本などが共同出資して設立されたマザーファンドプラットフォームです。

2025 年末、大湾区ファンドが深圳前海にて設立登記され、深圳市創新投資集団（以下「深創投」）がその運用管理チームを務めています。深創投董事長左丁氏は「この総額 504 億 5,000 万人民元のファンドは、数千億元規模の民間資本を誘致し、大湾区の重点産業分野へ投資することで、数兆元規模の戦略的新興産業及び未来産業クラスターの形成を支援します」と説明しました。

3 月 3 日、大湾区ファンドは最初のプロジェクトへの出資を完了しました。現在までに、大湾区ファンドは 15 の子ファンド（総規模約 86 億人民元）の設立が承認され、デューデリジェンス進行中で、8 つの直接投資プロジェクトにおいて投資決定が完了しています。子ファンドと直接投資プロジェクトの累計投資額は 27 億人民元を超えています。

---

2025 年末には、国家ベンチャー投資促進ファンドが、京津冀（北京・天津・河北省）、長江デルタ、大湾区の 3 つの地域ファンドの設立を推進しました。ある業界関係者は「最初の 3 つの地域ファンドの中で、大湾区ファンドは国家の承認規模に最も早く達成し、最も早く初回資金を全額払い込み、最も早くプロジェクトへの資金投入を実現しました」と説明しています。

大湾区ファンドは、「早期投資・小規模投資・長期投資・ハードテクノロジーへの投資」を堅持し「子ファンド+直接投資」モデルを通じて、戦略的新興産業と未来産業に重点的に投資し、中核技術の研究開発や科学技術成果の事業化を支援し、財政資金のレバレッジ効果を発揮させ、民間資本を誘導し大湾区の科学技術イノベーションと産業高度化に共同で貢献していきます。

### **資金の 70%以上をシード期・起業初期段階に投資**

初期段階のイノベーションテクノロジープロジェクトは、研究開発コストへの投資がかさみ、期間も長く、リスクも高いため「忍耐強い資本（ペイシエントキャピタル）」による長期的支援が本来必要とされています。しかし現実には、多くのベンチャーキャピタルファンドの存続期間が短く、業績評価のプレッシャーの中で機関投資家はリスクの低い中後期のプロジェクトに投資する傾向があり、初期段階で投資を行い、長期間にわたって全行程に寄り添うことを真に望む資金は依然として不足しています。

大湾区ファンドの制度設計は、まさにこのギャップを埋めるために生まれました。

投資先の観点から見ると、大湾区ファンドは、子ファンドが投資可能資金の 70%以上をシード期または起業初期の企業、すなわちシリーズ A ラウンド以前の初期段階に投資することが義務付けられており、最も高いリスクと最も長い期間を伴うイノベーションの最前線に正面から向き合います。また、新興基幹産業や未来産業を重点的に支援するため、子ファンドの資金の 60%を特定の産業分野に集中投資することを求めることで、子ファンドが細分化された分野を深く掘り下げるように誘導しています。運用期間の観点からは、ファンドの存

---

続期間は最長 16 年で、さらに 20 年を超えない範囲で延長することが可能であり、ハードテクノロジープロジェクトの実際の成長サイクルに真に適合した設計となっています。

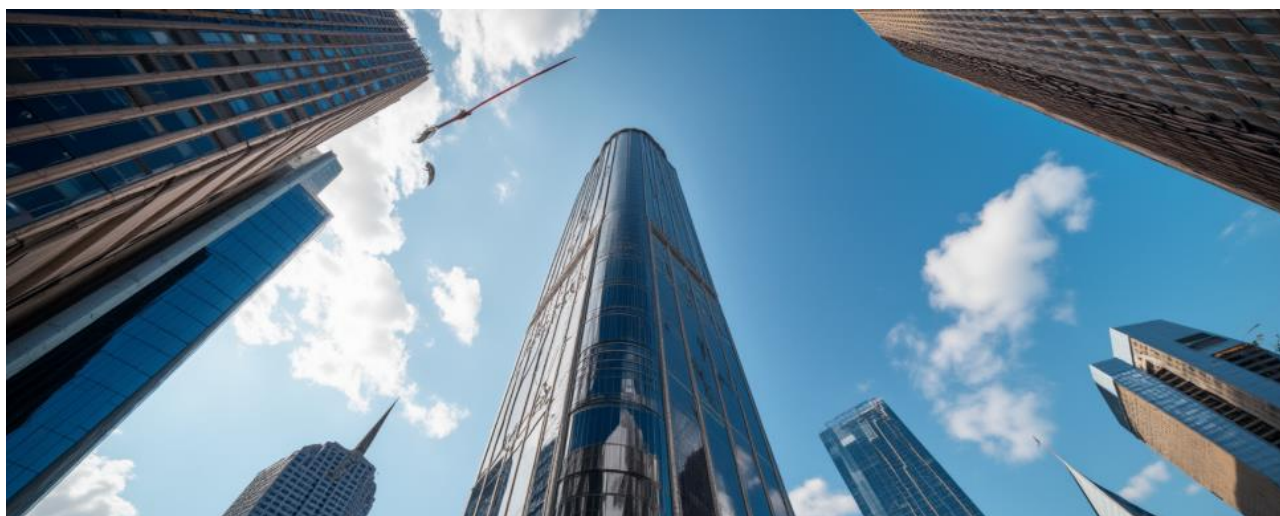
大湾区ファンドはさらにエラー寛容・免責メカニズムを明確化し、単一プロジェクトの損益を業績評価の根拠としないことを打ち出しています。

これを踏まえ、大湾区ファンドは市場化運営においてもさらに一步前進しています。長年にわたり、政府系ファンドの枠組みにおいて、いわゆる「返投」（リターン投資／地元への一定割合の再投資義務）は避けて通れない概念でした。これは、ファンドに対し一定割合の資金を地元へ投資することを求めるものであり、ほとんどの地方政府系ファンドにおいて慣例であり、多くの市場化された投資機関が政府資本との連携に際の懸念点ともなっていました。国家ベンチャー投資促進ファンドはこの慣例を打ち破り、地域ファンドおよび子ファンドに「返投」義務の比率を設定してはならないと明確に定め、市場原理に基づく投資案件選定における独立性を最大限に保障しています。

さらに、大湾区ファンドには複数の禁止事項が設けられており、ネガティブリストによって投資対象の境界線を引き、国家の「忍耐強い資本」を、最も必要とされる初期段階のイノベーション分野に確実に集中させることを目的としています。例えば、成熟企業の既存株式の引き受け、資金調達ニーズのない企業への投資、「名目上は株式だが実質は債務」となる強制買戻し条項の設定などが禁止されています。



## 【香港、世界第 5 位の商品貿易経済圏に躍進】



世界貿易機関（WTO）が発表した「世界貿易見通し・統計」報告書によりますと、2025 年、香港は世界で 5 番目に大きな商品貿易経済圏となり、前年と比べ、2 ランク順位を上げました。その商品貿易総額は前年比 17.5%増の 1 兆 5,850 億米ドルに達し、世界全体の 3%を占めました。

香港の商務・経済発展局の丘応樺局長は 4 月 2 日、「WTO の報告書は、過去 1 年間、地政学的リスクや貿易保護主義による様々な課題に直面しながらも、香港の対外貿易が力強い回復力を示したことを如実に示しています。中国本土、米国、ドイツ、オランダに次いで、世界第 5 位の商品貿易経済圏となったことは、誠に喜ばしい成果である」と述べました。

丘局長はまた「香港はこれまで自由貿易を一貫して推進し、ルールに基づく多角的貿易体制を確固として支持・維持しており、貿易相手国に対して予測可能で透明性の高い市場を提供しています。今回の報告書は、香港政府が推進してきた一連の貿易促進策が一定の成果を上げていることを裏付けています。具体的には、経済貿易ネットワークの拡大、企業誘致の強化、国際市場との連携深化、新興市場の開拓、中小企業への支援強化、そして香港の『一带一路』建設への参加促進や内需市場の開拓などです。これらの取り組みにより、香港は国際貿易において引き続き重要な役割を果たしています」と述べました。

丘局長はさらに「今年是中国の『第十五次五カ年計画』の初年度に当たります。香港政府は現在『第十五次五カ年計画』との連携を強化するため『香港五カ年計画』を策定中です。『第十五次五カ年計画』は、香港が中国の国家発展大局によりよく溶け込み、それに貢献することを明確に支援しており、香港が『祖国を背に世界とつながる』という独自の優位性を発揮し、国際貿易センターとしての香港の地位をさらに強化・向上させることを目指しています。香港政府は引き続き全力で貿易を推進し、中国本土企業が香港をプラットフォームとして海外進出することへの支援を強化し、新たな経済成長点を開拓するとともに、香港の『スーパーコネクター』および『スーパーバリューアダー』としての役割を十分に発揮していきます」と述べました。

#### 【参考資料】

- ・ [国家レベルのペイシェントキャピタル、大湾区に誕生](#)
- ・ [香港、世界第5位の商品貿易経済圏に躍進](#)

青葉【WeChat 公式】のフォローをご希望の方は、  
右記の QR コードから登録をよろしくお願いいたします。

(WeChat アプリにて、QR コードをスキャンしてください。)

[大湾区ニュースレター特集ページへのリンク](#)

また「大湾区情報」だけでなく、中国、香港のニュースや最新制度情報も WeChat の公式アカウントに掲載しています。



=====

[最新ニュースページ](#)で過去に発行したニュースレター、及び香港・中国本土最新ニュースをご覧になれます。

ホームページと共に、SNS でも随時情報を発信してまいります  
ので、是非ともフォロー、いいね！をお願いいたします。



質問等お問合せ先

青葉監査法人・青葉ビジネスコンサルティング・青葉法律事務所  
担当:

香港：新井 茂 <[s.arai@aoba.com.hk](mailto:s.arai@aoba.com.hk)>

広州：Monica Tian/田 倩 <[monica.tian@aoba.com.hk](mailto:monica.tian@aoba.com.hk)>

北京：Susan Zhao/趙 素艷 <[susan.zhao@aoba.com.hk](mailto:susan.zhao@aoba.com.hk)>

=====